

2017. 4. 2

私の言葉にとどまりなさい  
(ヨハネの福音書 8:31~47)

神は

ただひとりの方でおられる

その方が

御言葉を遣わしてこの世を救おうとされる(ヨハネ 8:31)

誰も

神を見た者がいない

私たちは神を見たが、これは御言葉が肉体となって

この世に来られたということである(ヨハネ 1:14~18)

この御言葉は血があり、生きており、私たちの信仰である(ヨハネ 8:53~55)

すなわち、いのちと永遠のいのちである

この世は常に変わるが、そのために改革という(マタイ 24:35)

改革という用語はこの世に属した言葉であり、

神に属したものではない

神の御言葉は永遠に変わることがない

私たちは

神の御言葉を聞くが、彼らは

この世が語る言葉を聞く(Iヨハネ 4:5~6)

聖霊はただその御言葉を伝えられる

聖霊の御言葉を聞くのが信仰である

その御言葉に従うときにまことに生まれ変わり、

永遠のいのちに至るいのちとなる

○聖霊が伝える御言葉だけが真理である(ヨハネ 16:13)

改革というこの世の言葉は真理ではない

神の御言葉を聞こう

○神の御言葉にとどまるのがいのちである

霊魂が罪から自由を得て自由者となる

主の御言葉にとどまってこそ、その方のまことの弟子である

○主の尊い血と主の肉は御言葉なので、

食べて飲んでこそ永遠のいのちを得る

主の御言葉にとどまる者がその方の弟子である

※改革という言葉にだまされないで、

主の血がある御言葉にとどまろう

ベレヤ運動は御言葉に還る還言運動である